

山形大学入試問題・前期

2023年度 数学

(1/1)

## 【第3問】

平面上に平行四辺形  $ABCD$  がある。ただし、 $AB=AD=1$  とする。また、点  $C$  から直線  $AB$  へ垂線を下ろし、その交点  $E$  が  $\overrightarrow{AE}=t\overrightarrow{AB}$  ( $1 < t < 2$ ) を満たすとする。さらに、線分  $BC$  と線分  $DE$  の交点を  $F$  とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1) 内積  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}$  を  $t$  を用いて表せ。
- (2) 内積  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AD}$  を  $t$  を用いて表せ。
- (3) 線分  $AC$  の長さを  $t$  を用いて表せ。

★(4) 内積  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AF}$  を  $t$  を用いて表せ。

- (5)  $\triangle BEC$  の面積  $S$  を  $t$  を用いて表せ。また、 $S^2$  の最大値と、そのときの  $t$  の値を求めよ

【入試情報】山形大学の入試問題(2023年度・数学)は、第1問から第6問までであり、学部に応じて、次のように解答することが求められております。

人文社会科学部	第1, 2, 3問	(90分)
理学部	第1, 3, 4, 5問	(120分)
医学部	第1, 3, 5, 6問	(120分)
農学部	第1, 2, 3, 4問	(120分)

★

■第3問の出題項目：数学B・ベクトル／数学Ⅲ 微分法

出題内容：平面ベクトル / 4次関数の最大値

■今回は、第3問のうち(4)のみの解答です。(1)(2)(3), (5)は別ファイルになります。)

■2023年度・第3問(4)が解けるようになる基礎教材(数専ゼミオリジナル教材)

- ・数学B ベクトルと図形 No.1(2/8) ◀分点の位置ベクトル
- ベクトルと図形 No.5(2/7) ◀分点の位置ベクトル

これらの教材を学習してから入試問題(第3問(4))を解いてみてください。

すらすらと解けることにびっくりします。

【注】数専ゼミの高校数学教材は、山形大学医学部の入試問題にフォーカスをあてて作成してあります。だから、この教材を学び切ることで、医学部の入試問題を解く力が自然に身につきます。

(次のページへつづく)

□ □ 【山形大学入試問題・前期 2023年度・第3問(4)】 - 〈2枚目/2枚〉

➡ (前のページからのつづき)

【考え方】(4)  $\triangle DFC \sim \triangle EFB$ より,  $DF : EF = CD : BE = 1 : (t-1)$ より, 点Fが線分DEの内分点であるから, まず点Fの位置ベクトルを求め, これを条件式に代入して内積を求めればよい。分配法則で現れる内積については, (1), (2)の結果がそのまま使える。実に, ”山形大学っぽい”問題である。

【注】山形大学の入試問題は, ほとんどが, 前の問の結果をうまく取り込むことで, 次の問題が簡単に解けるように作問されています。

この技術をうまく使えるようになることが高得点を取る秘訣です。

[答 案]

(4) 内積  $\vec{AB} \cdot \vec{AF}$  を  $t$  を用いて表す。

① (DF:FEの比を求める)  
 $\triangle DFC \sim \triangle EFB$ より,  
 $DF : EF = CD : BE = 1 : (t-1)$

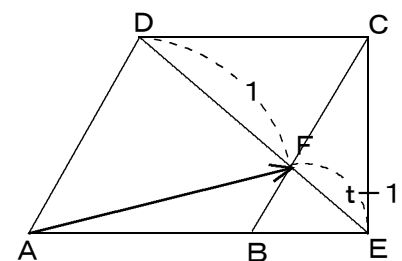
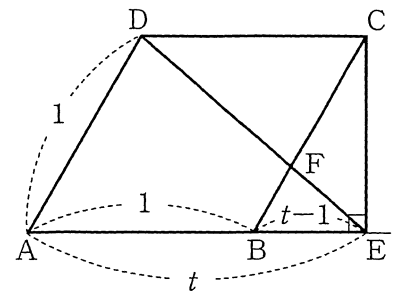
② (点Fの位置ベクトルを求める)  
 点Fは線分DEを  $1 : (t-1)$  に内分する点になるので, 内分点の公式より,

$$\begin{aligned} \vec{AF} &= \frac{(t-1)\vec{AD} + 1 \cdot \vec{AE}}{1 + (t-1)} \\ &= \frac{t-1}{t} \vec{AD} + \frac{1}{t} \vec{AE} \end{aligned}$$

③ (内積  $\vec{AB} \cdot \vec{AF}$  を求める)

したがって,

$$\begin{aligned} \vec{AB} \cdot \vec{AF} &= \vec{AB} \cdot \left( \frac{t-1}{t} \vec{AD} + \frac{1}{t} \vec{AE} \right) \\ &= \frac{t-1}{t} \vec{AB} \cdot \vec{AD} + \frac{1}{t} \vec{AB} \cdot \vec{AE} \\ &= \frac{t-1}{t} \cdot (t-1) + \frac{1}{t} \cdot t \\ &= \frac{t^2 - 2t + 1}{t} + \frac{t}{t} \\ &= \underline{\underline{\frac{t^2 - t + 1}{t}}} \end{aligned}$$



◀ 内積の分配法則

◀ (2)より,  $\vec{AB} \cdot \vec{AD} = t-1$  / (1)より,  $\vec{AB} \cdot \vec{AE} = t$